

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社ベビーサポート 児童発達支援 アスウィズ2		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 20 日		～ 令和 7 年 2 月 10 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 20 日		～ 令和 7 年 1 月 20 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 10 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	PT・OT・STの3職種が揃って専門的支援を行っている。	個別や集団にて専門的支援を行い、自立助長のための療育を行える体制を維持している。	毎朝のミーティングにて、PDCAの報告や事例検討を行う。
2	前職までの福祉経験が豊富である職員が多いことから、色々な考え方があり、多様性やダイバーシティに富んでいる。	全職員が意見ができるように毎朝ミーティングにて発言する。	それぞれの過去の経験を尊重して、ひとつひとつの意見を集約していく。
3	SNSやITを使って、先進的な科学技術を使用し、支援者の負担を軽減したり、またきめ細かい支援を行えるようITを活用している。	労働者の負担の軽減。個々の支援に対しての教育や研修プログラムを利用している。	業務効率や支援知識・技術に対して、新しいものを常に取り入れて行こうとする姿勢を継続している。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	突然の病気休暇者、年次有給休暇取得者の加算はされても、職場に人的余裕がないため、少ない人数での業務となる。	社会的要因が大きく、事業所としての単位では限界がある。	職場の環境の良さ、働きやすさを今後も考えていきたい。
2	同年代の放課後児童クラブ生との協働についての参画がすすまない。		社会的な雰囲気や考え方の変容がおきないと厳しい。ソーシャルインクルージョンを言われ始めたばかりで、社会の地盤が醸成されていない。
3			